

こんな心配や悩みは、ありませんか？ その2

R7.2 保育未来課 子育てコンシェルジュ

園では、楽しいことや面白いこと、
わくわく・ドキドキすることが いっぱい！

入園後、親と離れて、先生
やお友達と一緒に遊ぶこと
ができるかな？泣いて困ら
せるかも！

年齢の低い子どもは、自分の思いをどうにかして通そうとしたり、思いをうまく言葉で伝えられなかったりして、すぐに大声で泣いたり手や足が出たりすることがあります。関わる大人は、ゆったりと落ち着いた気持ちで傍にいたり、だっこして様子を見守ったりしましょう。しばらくして、少し落ち着いたたり涙が止まったりすると、自分なりの言葉で思いを伝えたり、落ち着いて大人の話の聞いたりするようになるでしょう。我慢したり気持ちのコントロールができたり、相手の思いを受け止められたり優しさを向けられたりした時は、しっかりと褒めてあげましょう。

なかなか言葉が出なくて心配しています。
まだ、文字や数字に興味がありません。少しずつ教えた方がいいのでしょうか？

園に少し慣れた頃に、朝登園をしぶったり、登園後親が帰ろうとするとしがみついて離れなかったり涙が出たりすることがあります。「入園をあんなに楽しみにしていたのにどうしたのかしら？」と心配になりますね。それまでは、大好きなおうちの人が傍にいて、安心して過ごしていた生活から、登園後おうちの人が帰ってしまうと、不安な気持ちが大きくなって、このような姿を見せるのではないのでしょうか。おうちの人と離れて生活することは、とても勇気のいることです。園の先生と相談しながら、ゆったりとした気持ちで気長に関わり、安心できる雰囲気づくりをしたり園生活の楽しさを共有したりしていきましょう。次第に園に慣れていきますよ。

機嫌が悪かったり気に入らないことがあったりすると、大声で泣いたり、すぐに手や足が出たりします。

子どもの言葉の発達、文字や数量等への興味・関心には、個人差があります。まずは、ゆったりとした気持ちで子どもに向き合い、大人が聞き上手になってあげましょう。言葉が話せる、文字や数量等に興味関心があることばかりに目を向けることなく、しっかりと体を動かして遊んだり、安定して身近な環境に関わったりする中で、言葉や文字、数量等に親しむ機会を多くもち、感覚を高めていきましょう。日常生活の中で、簡単な言葉遊びをしたり絵本等の中で知っている文字や数字をさがしたり、おやつを数えたりすることも楽しいですよ。